



せい けん 聖 賢 小 学 校

郵便番号 536-0015
所在地 城東区新喜多2丁目4-35
電話番号 (06)6932-5025~6
FAX (06)6932-5751
校長名 林田 泰治



【教育目標】 人間性豊かな子どもを育てる

【沿革等】 開校は、大正7(1918)年4月1日。校名の由来は、子どもたちが聖人賢士の道を学ぼうと毎日通っていた、かつての鯉江川にかかっていた「聖賢橋」(蒲生町と新喜多町をつないでいた)にちなんで「聖賢小学校」と命名されました。

運営に関する計画《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合76.4%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42.9%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

令和7年度、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和6年度調査結果の概要】

国語は全国平均を1.7ポイント下回り、算数は2.6ポイント上回った。

本校平均正答率	
国語	算数
66%	66%

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

国語科では、「読むこと」のみ全国平均・大阪市平均を上回ることができた。図書館司書と連携して学習や行事に合わせた図書を紹介するなど、読書の習慣づけに取り組んだ成果だと考えられる。しかし、「読むこと」はできても、事実に基づき説明したり、関係づけたりすることが課題であるとわかった。順序を表す言葉やキーワードとなる言葉を見つけてまとめる活動が重要となる。算数科では、「データの活用」が全国平均・大阪市平均を大きく上回ることができた。理科や社会科と横断的な学習の取り組みによるものと分析する。しかし、「式と計算」、「図形」では、基礎基本をしっかり定着させることを要する。

今後は、国語科、算数科ともに基礎基本の知識・技能に課題があることがわかったので、どちらも暗記するだけでなく、理由や説明ができるようにしていく。今年度は研究を国語とし、自分の意見や考えを書くことができることを目標としている。そのため、指導者は各教科で意見交流の場の工夫や設定をし、友だちの意見から自分の考えを広めたり深めたり、様々な情報をつなげる練習をしていく。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和6年度調査結果の概要】

		種目別平均値								
		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子		17.6	20.5	29.7	35.2	38.9	9.5	153.0	20.9	50.3
女子		15.7	16.9	33.7	32.5	28.7	10.0	136.2	13.0	49.1

体力合計点では、男女とも全国・大阪市平均を下回る結果となった。男子は握力、上体起こし、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均を上回ったが、女子は全種目全国平均を下回ったが、大きな差がない種目もあった。長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルランは男女ともに全国平均を大きく下回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に回答する児童が、全国・大阪市平均を下回っている。1週間の総運動時間が60分以下の割合は、男子6.6%、女子26.6%である。男子は全国・大阪市平均より少なく、女子は全国平均より10.6%、大阪市平均より6.7%高い結果からも、運動時間の少ない影響が、平均を下回る結果に表れている。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

学校全体で運動やスポーツをすることが好きな児童を増やすために、学習カード等を活用したり、場の設定を工夫したり、目標を決めて振り返りをさせたりするなどの充実を図った。また児童同士の話し合い活動も取り入れたので、主体的に活動する姿を見ることができた。

今後もさらに、授業だけでなく、外遊びの時間や委員会主催の企画を通して、運動時間の増加とともに体力向上へとつながりたい。

● 聖賢小学校教育目標とめざす子ども像 ”人間性豊かな子どもを育てる”

自ら考えようとする子ども(知育)
すすんで心身をきたえようとする子ども(体育)
他を思いやり、協力しようとする子ども(道徳)
何事も積極的にやり遂げようとする子ども(態度)

【今年度の学校教育目標】

- 児童が安心できる教室づくりをする。
- 「聴く」ことを大切に授業づくりをする(児童が集団で学ぶことの良さを感じる)。
- 達成感や成就感を味わえる体験活動の機会を設定する。
- 働き方改革を進める(今までの教育の質を落とさずに進める)。

● 地域との交流 ～生活科・総合的な学習の時間を中心に～



地元の商店街取材し、活性化プランを考える



せいタンTシャツづくり



古民家再生した地域のお店を取材



見守り隊のみなさんに感謝



米作り体験



聖賢小学校のゆるキャラ「せいタン」



しめ縄づくり体験



地域のお店をジオラマで再現



若宮だんじり祭りの取材



学習園でホップを栽培



学校の様子は聖賢小学校ホームページをご覧ください。

学校案内図 (18ページもあわせてご覧ください)



聖賢小学校